

地域とのふれあいを大切に。

北海道とともに「子どもの安全を見守る運動」を推進



寄贈するとともに、参加車両が一堂に会しての出発式が2006年7月に北海道庁で行われました。現在、約3,000団体・13,000台の車両が参加する、まさに全道に広がる「道民運動」へと拡大しています。当社もグループをあげて積極的に運動参加。全道の事業所と車両(約1,200台)にポスターやステッカーを掲出して、子どもの安全を見守っています。



当社グループも参加した北海道庁での出発式

子どもたちが狙われ被害を受ける犯罪が激増している昨今、当社は「大人だけが子どもの安全を守ることができる」というコンセプトのもと、官民が一体となって「子どもの安全を見守る運動」を推進していくことを北海道へ政策提案し、道民運動として採択されました(北海道が2006年度赤レンガチャレンジ事業として推進する「民間企業等とのタイアップ事業」第1号)。この採択に基づき、当社が企画・デザインした運動のポスター(10,000枚)と車両ステッカー(11,000枚)を「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり推進会議」(会長:高橋はるみ北海道知事、事務局:北海道・北海道警察・北海道教育委員会)へ



運動開始以来当社グループでは、怪我をしたり道に迷った子どもや年寄りを保護した活動が4件報告されています。



角野社長から高橋知事への寄贈



車両ステッカー



啓発ポスター

安全で安心な
社会の確立を目指す
地域に、その世界に、
ゆるやかな「潤いの種」を
まかせよう。



北海道と「災害時における飲料の供給等防災に関する協力協定」の締結(2006年12月)

北海道に本社と生産・在庫の機能を持ち、道内全域をカバーする物流網を有する当社グループの資源を、地域の防災力強化に活用していただきます。災害時における飲料の提供等とはもとより、平常時から防災意識の高揚による地域防災力強化を図るためのさまざまな協力活動を行います。なお、北海道が防災に関して民間企業と協力協定を締結するのは初めてのことであり、この締結によって道内の各市町村においても同様の協定を締結したものとみなされます。今後は北海道全地域の防災パートナーとして、積極的な取り組みを推進します。



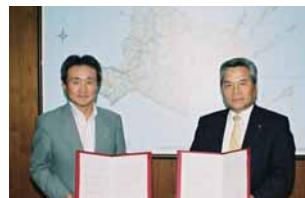
北海道との防災協定調印式



釧路市との協定調印式 恵庭市との協定調印式 白糠町との協定調印式

国土交通省北海道開発局との協定

北海道の活力ある地域づくりを目指して、2006年9月、国土交通省北海道開発局とお互いの可能なツール等を用いて、道路と地域の安全や地域振興支援などの取り組みを協働することを目的とした包括協定を締結しました。この最初の取り組みが、後志地区における「おしらせ道ねっと」です。これは災害対応型自動販売機の電光掲示機能を活用した、「道の駅」での自治体による道路情報や災害情報・地域情報などの発信です。そのほか、シーモ自動販売機の液晶画面を活用して「シーニックバイウェイ北海道」の景観映像の放映など、多彩な協働事業を推進しています。



斜里町との協定

世界自然遺産に指定された知床の環境保全活動を支援するため、2006年4月、斜里町内に設置している自動販売機の売上金の一部を、斜里町が行う知床の環境保全活動に寄付する協定を締結しました。あわせて、知床世界自然遺産指定地域内において、景観に配慮した自動販売機やノンフロン型自動販売機の設置を推進するほか、同地域へ立ち入る配送車両についてハイブリッド車両を採用するなど、環境への配慮を進めています。



地域のこころを結んで。

クリスマスの贈り物が 累計200万本を突破!

1968年から毎年、道内各市町村の福祉施設にクリスマスプレゼントとして製品を寄贈しています。2006年度は、約520箇所の福祉施設へ合計約6万本の寄贈を行い、1968年からの累計は200万本を超えました。永年の支援に対して、恵庭市や苫小牧市より感謝状を授与されました。

私たちはいままでもこれからも
北海道のみなさまに信頼され、
みなさまの「声」に
支えられて歩み続けます。



福祉施設への製品の寄贈と感謝状の授与

さまざまな福祉活動

1980年から「社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会」に対する支援活動を行っており、2007年2月には札幌肢体不自由児者父母の会より感謝状を授与されました。

そのほか2006年4月には、北海道立生涯学習推進



札幌肢体不自由児者父母の会より
感謝状の授与



北海道立生涯学習推進センター
への視聴覚教材の寄贈

センターに、16mm映写機や映画フィルムなどの視聴覚教材を寄贈するほか、2006年7月にはジャワ島中部地震被災地への寄付金活動を行うなど、さまざまな社会貢献活動を展開しています。

国際交流に特別協賛

毎年夏休みの4日間、北海道新聞社主催の「北海道青少年国際交流プログラム」(International Youth Exchange in Hokkaido: 略称IYE)が開催されています。IYEは、アメリカ・中国・タイなど海外9カ国の青少年と道内の中学生が交流し、友情を深めることを目的とした国際交流活動です。当社は、特別協賛企業として、IYEを支援するとともに、コカ・コーラステージでのパフォーマンスや札幌工場の見学などを実施しています。



地元北海道を応援する 「北海道限定販売」の新製品

世界自然遺産に登録された「知床」の風景2種類を描いた「ジョージア サントスプレミアム」を2006年6月に発売しました。また、広大な土地で育った良質な北海道産の牛乳をたっぷり使用した「じょうずに野菜 北海道ミルクと野菜」を2006年9月に発売しました。両品とも北海道限定製品として、北海道が展開する「北海道イメージアップキャンペーン」に参加するとともに、北海道の観光や地産地消を応援しています。

なお、2007年1月には、ナチュラルミネラルウォーター「オロフレ山溪水」を加えた3品が、札幌商工会議所の「北のブランド」に認証されました。



※「北のブランド」とは札幌商工会議所による「ものづくり産業」の支援として、札幌市内会員企業をはじめとする地域の製造業者がこだわりをもって開発した製品や独自の技術を認証するものです。

安全運行への取り組み

幸楽輸送、「Gマーク」「グリーン経営認証」を取得！

グループ会社の幸楽輸送(株)では、2006年1月に社団法人全日本トラック協会が認定する安全性優良事業所の「Gマーク」を全事業所で取得するとともに、2006年11月には、交通エコロジー・モビリティ財団が認定するトラック運送事業者における「グリーン経営認証」も取得しました。同社では、事業所や車両に「Gマーク」や「グリーン経営認証」の認定マークやステッカーを掲示して、お客さまに向け積極的に安全運行や環境保全をPRしています。



Gマーク



グリーン経営認証

地域の安全・安心を応援

八雲営業所では2005年4月から、岩見沢営業所では2006年12月から、地域の自動販売機に防犯を呼びかけるポスターを掲示しています。

そのほか旭川営業所では、「春の交通安全運動」で安全運転の呼びかけに参加(2006年4月)、江差営業所では「自主防犯パトロール・フォーラム」に参加(2006年10月)、函館営業所では「みんなで築こう、安全で安心な大地」総決起大会に参加(2006年10月)、札幌第一営業所では歳末特別警戒出発式に参加(2006年12月)など、全道各地で地域の警察署と連携して安全・安心なまちづくりを応援しています。



歳末特別警戒出発式へ参加

地域にさわやかな笑顔を。

教育支援活動

国際性豊かな青少年を育てるために英語の普及を推進する「高円宮杯全日本中学校英語弁論大会」の開催や、経済的理由で大学進学が困難な学生に奨学金を支給する事業である「日本コカ・コーラボトラーズ育英会」の北海道支部として大学在学の期間、返済義務のない奨学金を支給しています。なお、当育英会は2006年で発足40周年を迎え、奨学生も全国で1,940名、北海道では78名となっています。

私たちは
企業市民として、
教育やスポーツ、地域活動を
もみりして応援して
いきたいですね。



高円宮杯全日本中学校英語弁論大会



奨学生募集ポスター

インターンシップ

学生が企業において実習・研修的な就業体験ができる「インターンシップ」の受け入れを行っています。当社では、これを産学協働の人材育成の場として捉え、参加学生の就業意識や社会貢献意識の向上を支援しています。
(2006年度実績:大学生6名、高校生3名、中学生6名)



職場体験学習の様子

スポーツ支援活動

コカ・コーラでは、2006年のサッカーW杯ドイツ大会に派遣する「ジュニア親善大使」を募集し、北海道からは2名の中学生が選ばれ、対ブラジル戦で日本国旗を持って入場する「フラッグベアラー」として大役を果たしました。また札幌市内の児童を対象に、サッカーを通して環境保全活動に楽しく取り組んでもらうイベント「かんきょうみらいカップ」を応援するほか、社団法人日本一輪車協会への支援活動や全国高等学校総合体育大会への協賛など、スポーツを通じた心身の健全な育成活動を支援しています。



サッカーW杯ドイツ大会ジュニア親善大使



かんきょうみらいカップ2006



さわやか一輪車競技大会



コカ・コーラ杯クラブバレーボール



オリンピックデラン

水泳・北島選手が1日体育教師に

2006年8月、アテネ五輪の水泳金メダリスト・北島康介選手による「2006 FROG TOWN MEETING」が札幌市内の小学校で開催されました。1日体育教師となった北島選手は、水泳教室などで生徒たちと楽しいひとときを過ごすとともに、「夢を持つことの大切さ」を熱く語りました。



地元企業・地域イベント支援

2003年より北海道のプロサッカーチーム「コンサドーレ札幌」とスポンサー契約を結ぶほか、コンサドーレマーク入り自動販売機(ドーレBOX)を設置して、その売上金の一部を運営資金として協賛しています。また、2007年3月からは北海道日本ハムファイターズとスポンサー契約を結ぶなど、地元球団を積極的にバックアップしています。このほかにも、冬の北海道を代表するイベント「さっぽろ雪まつり」への協賛をはじめ、夏の札幌を華やかに彩る「YOSAKOIソーラン祭り」をオフィシャルスポンサーとして応援するほか、地元の札幌国際大学と協働しコカ・コーラ札幌国際大学チームとして参加するなど、地域に密着した活動を展開しています。



ドーレBOX



さっぽろ雪まつり会場風景



YOSAKOIソーラン祭り
コカ・コーラ札幌国際大学チーム